



2024年度（2025年3月期）
第3四半期決算

参考資料

2025年2月7日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部: TEL 03-3817-5120

IR部: TEL 03-3817-5122

<https://www.eisai.co.jp/>

[将来予想に関する事項と事業等のリスク]

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクや不確実性の詳細に関しては、当社の前期有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。ただし、当該記載は当社グループに係るすべてのリスクや不確実性を網羅したものではなく、現時点において予見できない、あるいは重要とみなされていない他の要因の影響を将来的に受ける可能性があります。また、当該記載は本発表日現在において判断したものであり、文中の将来に関する事項はその発生あるいは達成を保証するものではありません。

目次

1. 連結損益計算書	1
2. セグメント情報	2
3. 報告セグメント別情報	3
4. 主力品売上収益	7
5. セグメント別売上収益見通し	9
6. 連結包括利益計算書	10
7. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
8. 資本的支出及び減価償却費の状況	12
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 主要開発品	17

為替レート

		米国 (米ドル/円)	欧州 (ユーロ/円)	英国 (ポンド/円)	中国 (人民元/円)
2023年度 第3四半期	期中平均レート	143.29	155.29	179.51	19.98
	期末日レート	141.83	157.12	180.68	19.93
2023年度 通期	期中平均レート	144.62	156.79	181.75	20.14
	期末日レート	151.41	163.24	191.22	20.83
2024年度 第3四半期	期中平均レート	152.56	164.82	195.43	21.15
	期末日レート	158.18	164.92	199.02	21.67
2024年度	予想レート	145.00	155.00	180.00	20.40

- ・ 当社の連結財務諸表は国際会計基準(IFRS)にて開示しています。
- ・ 当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、医薬品事業を構成する日本、アメリカス(北米)、中国、EMEA(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)、イーストアジア・グローバルサウス(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)の5つの事業セグメントを報告セグメントとしています。
 なお、アジア・ラテンアメリカ医薬品事業の管轄エリアがアジア(日本、中国を除く)、中南米、南アフリカであった状況に鑑み、2024年10月1日より、イーストアジア・グローバルサウス医薬品事業に名称変更しました。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。
 2024年度において、経営の実態をより適切に表示するため、従来、研究開発費に含めていた各報告セグメントにおけるメディカル活動に伴う費用を各セグメントの利益に反映しています。2023年度のセグメント情報は、当該変更を反映しています。
- ・ 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2023年度				2024年度				2024年度	
	3Q累計	売上比	通期	売上比	3Q累計	売上比	前同比	増減額	通期予想	売上比
売上収益	5,513	100.0	7,418	100.0	6,012	100.0	109.1	499	7,540	100.0
売上原価	1,192	21.6	1,553	20.9	1,282	21.3	107.5	90	1,705	22.6
売上総利益	4,320	78.4	5,864	79.1	4,730	78.7	109.5	409	5,835	77.4
販売費及び一般管理費	2,710	49.2	3,744	50.5	3,015	50.1	111.2	304	3,825	50.7
販売費	1,416	25.7	1,940	26.1	1,555	25.9	109.8	139	—	—
人件費	849	15.4	1,175	15.8	971	16.2	114.3	122	—	—
管理費他	445	8.1	630	8.5	488	8.1	109.8	44	—	—
研究開発費	1,245	22.6	1,690	22.8	1,253	20.8	100.7	8	1,675	22.2
その他の収益	14	0.3	120	1.6	114	1.9	823.7	100	200	2.7
その他の費用	4	0.1	16	0.2	22	0.4	597.3	18	—	—
営業利益	375	6.8	534	7.2	554	9.2	147.6	179	535	7.1
金融収益	77	1.4	108	1.5	81	1.3	105.4	4	—	—
金融費用	15	0.3	24	0.3	24	0.4	157.4	9	—	—
税引前四半期(当期)利益	437	7.9	618	8.3	611	10.2	139.8	174	600	8.0
法人所得税	129	2.3	180	2.4	136	2.3	105.8	7	—	—
四半期(当期)利益	308	5.6	438	5.9	475	7.9	154.1	167	445	5.9
四半期(当期)利益の帰属										
親会社所有者	291	5.3	424	5.7	455	7.6	156.3	164	430	5.7
非支配持分	17	0.3	14	0.2	20	0.3	115.7	3	—	—

四半期(当期)包括利益	665	12.1	1,228	16.6	754	12.6	113.5	90
-------------	-----	------	-------	------	-----	------	-------	----

EPS(円)	101.46	147.86	160.14	152.50
DPS(円)	—	160.0	—	160.0
ROE(%)	—	5.1	—	5.2
DOE(%)	—	5.5	—	5.5

・通期予想のその他の収益は、その他の費用を控除して表示しています。

・EPS: 基本的1株当たり四半期(当期)利益、DPS: 1株当たり配当金、ROE: 親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE: 親会社所有者帰属持分配当率

・2024年5月15日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2024年度の通期予想におけるEPSについては、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。

<コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> ・抗がん剤「レンビマ」、不眠症治療剤「デエビゴ」およびアルツハイマー病治療剤「レケンビ」が引き続き伸長 ・一部製品の権利の譲渡により、その他事業の売上収益が増加 ・2023年6月にヒト型抗ヒトTNFαモノクローナル抗体「ヒュミラ」の共同販促契約が満了: 前年同期134億円
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> ・米メルク社へ支払う「レンビマ」の折半利益を費用計上: 当期 1,151億円、前年同期 1,034億円
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップモデルを活用した費用負担の抑制(パートナー負担額: 当期 389億円、前年同期 458億円)
■その他の収益	<ul style="list-style-type: none"> ・抗体薬物複合体farletuzumab ecteribulinに関するBristol Myers Squibb(以下 BMS社)との戦略的提携契約の終結に伴い、預り金の取崩益59億円を計上 ・販売権の譲渡に伴う固定資産売却益の計上
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> ・売上収益: +241.6億円、営業利益: +12.5億円
■為替感応度 (1円の円安に対しての年間影響額)	<ul style="list-style-type: none"> ・売上収益: 米ドル +18.7億円、ユーロ +3.1億円、英ポンド +0.7億円、人民元 +63.7億円 ・営業利益: 米ドル Δ4.5億円、ユーロ +2.0億円、英ポンド Δ0.6億円、人民元 +46.4億円

2. セグメント情報

1) 売上収益

(億円、%)

	2023年度		2024年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業(報告セグメント)計	5,281	6,915	5,691	107.8	103.5
日本 医薬品事業	1,720	2,169	1,671	97.1	97.1
アメリカス 医薬品事業	1,721	2,324	2,093	121.6	114.2
米国	1,683	2,269	2,040	121.2	113.8
中国 医薬品事業	864	1,119	885	102.5	96.8
EMEA 医薬品事業	562	760	597	106.3	100.1
イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業	414	542	444	107.3	103.7
その他事業	232	503	321	138.3	131.6
連結売上収益	5,513	7,418	6,012	109.1	104.7

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2023年度		2024年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	為替影響除く 前同比
医薬品事業(報告セグメント)計	2,563	3,242	2,723	106.3	101.5
日本 医薬品事業	587	710	587	100.0	100.0
アメリカス 医薬品事業	1,058	1,382	1,210	114.4	108.0
中国 医薬品事業	460	566	440	95.7	88.2
EMEA 医薬品事業	269	356	280	104.2	99.5
イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業	189	228	206	109.1	105.0
その他事業	156	402	232	149.3	140.9
研究開発費	△1,111	△1,496	△1,100	99.0	95.2
親会社の本社管理費等	△1,232	△1,614	△1,302	105.7	99.2
連結営業利益	375	534	554	147.6	144.3

・パートナーとの戦略的提携に伴う利益および費用の折半金額を親会社の本社管理費等に含めています。

3. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	1,720	2,169	1,671	97.1
医療用医薬品	1,542	1,943	1,492	96.8
一般用医薬品等	179	227	179	100.3
セグメント利益	587	710	587	100.0
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
不眠症治療剤 デエビゴ	266	355	338	127.0
ヤヌスキナーゼ阻害剤 ジセレカ	96	126	111	115.3
抗がん剤 レンビマ	122	155	106	86.7
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	0	4	83	138312.5
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	74	95	66	88.9
慢性便秘症治療剤 ゲーフィス*	56	70	61	109.4
抗てんかん剤 フィコンパ	54	69	59	110.4
慢性便秘治療剤 モビコール*	51	66	59	115.2
抗がん剤 ハラヴェン	61	79	57	93.4
成分栄養剤 エレンタール*	57	71	56	99.9
パーキンソン病治療剤 エクフィナ	45	58	49	110.1
日本 一般用医薬品等 主力品売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	115	150	121	104.9

* EAファーマの取り扱い製品です。

2)アメリカス 医薬品事業(北米)

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	1,721	2,324	2,093	121.6
米国	1,683	2,269	2,040	<114.2>
セグメント利益	1,058	1,382	1,210	<113.8>
アメリカス 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ	1,521	2,041	1,755	115.4
米国	1,511	2,025	1,735	<108.4>
(百万米ドル)	(1,054)	(1,400)	(1,137)	114.9
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	14	38	181	<129.9>
米国	14	38	181	<1212.5>
(百万米ドル)	(10)	(27)	(119)	129.9
抗がん剤 ハラヴェン	93	124	65	70.2
米国	90	121	63	<66.0>
(百万米ドル)	(63)	(84)	(41)	69.9
不眠症治療剤 デエビゴ	38	51	50	131.0
米国	21	26	23	<124.5>
(百万米ドル)	(15)	(18)	(15)	107.8
				<101.3>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

3)中国 医薬品事業

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	864	1,119	885	102.5 <96.8>
セグメント利益	460	566	440	95.7 <88.2>
中国 主力品売上収益				
抗がん剤 レンピマ	211	269	192	91.1 <86.0>
めまい・平衡障害治療剤 メリスロン	102	132	115	112.8 <106.5>
末梢性神経障害治療剤 メチコバル	99	126	97	98.3 <92.8>
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	54	73	63	117.0 <110.5>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	51	69	58	113.0 <106.7>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー／グリチロン錠	54	71	57	106.6 <100.7>
筋緊張改善剤 ミオナール	47	62	54	114.4 <108.0>
抗てんかん剤 フィコンバ	28	35	32	111.7 <105.5>
アルツハイマー病治療剤 レケンビ	—	0	28	— <—>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	63	82	24	38.1 <36.0>
抗がん剤 ハラヴェン	15	20	17	107.3 <101.3>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業(欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア)

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	562	760	597	106.3 <100.1>
セグメント利益	269	356	280	104.2 <99.5>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ/Kispalyx	277	382	314	113.5 <106.9>
抗てんかん剤 フィコンパ	94	128	114	120.6 <113.6>
抗がん剤 ハラヴェン	91	117	73	80.4 <75.2>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) イーストアジア・グローバルサウス 医薬品事業(韓国、台湾、インド、アセアン、中南米、南アフリカ等)

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
売上収益	414	542	444	107.3 <103.7>
セグメント利益	189	228	206	109.1 <105.0>
イーストアジア・グローバルサウス 主力品売上収益				
抗がん剤 レンビマ	100	130	114	113.5 <109.9>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	101	135	109	107.6 <104.7>
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	40	50	34	84.2 <81.3>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	33	44	32	98.7 <94.7>
抗がん剤 ハラヴェン	27	35	28	104.1 <100.7>
抗てんかん剤 フィコンパ	15	19	15	105.6 <101.5>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4. 主力品売上収益

1)ニューロロジー領域製品

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
ニューロロジー領域製品計	1,088	1,457	1,479	136.0 <132.0>
デエビゴ(不眠症治療剤)	312	418	405	129.9 <128.8>
日本	266	355	338	127.0
アメリカス	38	51	50	131.0 <124.5>
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	14	43	296	2080.9 <1991.1>
日本	0	4	83	138312.5
アメリカス	14	38	181	1290.9 <1212.5>
中国	—	0	28	— <—>
フィコンパ(抗てんかん剤)	197	259	222	112.8 <108.3>
日本	54	69	59	110.4
中国	28	35	32	111.7 <105.5>
EMEA	94	128	114	120.6 <113.6>
イーストアジア・グローバルサウス	15	19	15	105.6 <101.5>
メチコパール(末梢性神経障害治療剤)	220	283	209	95.1 <91.9>
日本	74	95	66	88.9
中国	99	126	97	98.3 <92.8>
イーストアジア・グローバルサウス	33	44	32	98.7 <94.7>
アリセプト(アルツハイマー型認知症治療剤)	192	254	192	99.8 <96.2>
中国	51	69	58	113.0 <106.7>
イーストアジア・グローバルサウス	101	135	109	107.6 <104.7>
その他	153	200	156	101.9 <98.9>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

2)オンコロジー領域製品

(億円、%)

	2023年度		2024年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比
オンコロジー領域製品計	2,579	3,432	2,786	108.0 <102.1>
レンビマ/Kisplyx(抗がん剤)	2,232	2,976	2,481	111.2 <104.9>
日本	122	155	106	86.7
アメリカス	1,521	2,041	1,755	115.4 <108.4>
中国	211	269	192	91.1 <86.0>
EMEA	277	382	314	113.5 <106.9>
イーストアジア・グローバルサウス	100	130	114	113.5 <109.9>
ハラヴェン(抗がん剤)	287	375	240	83.6 <79.9>
日本	61	79	57	93.4
アメリカス	93	124	65	70.2 <66.0>
中国	15	20	17	107.3 <101.3>
EMEA	91	117	73	80.4 <75.2>
イーストアジア・グローバルサウス	27	35	28	104.1 <100.7>
その他	61	81	65	107.0 <101.6>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5. セグメント別売上収益見通し(2024年度)

(億円)

	2023年度		2024年度	
	3Q累計	通期	3Q累計	通期予想
日本	1,720	2,169	1,671	2,180
医療用医薬品	1,542	1,943	1,492	1,955
デエビゴ (不眠症治療剤)	266	355	338	440
レンビマ (抗がん剤)	122	155	106	150
レケンビ (アルツハイマー病治療剤)	0	4	83	120
メチコパール (末梢性神経障害治療剤)	74	95	66	85
フィコンパ (抗てんかん剤)	54	69	59	80
グーフイス* (慢性便秘症治療剤)	56	70	61	75
ハラヴェン (抗がん剤)	61	79	57	70
エクフィナ (パーキンソン病治療剤)	45	58	49	70
モビコール* (慢性便秘症治療剤)	51	66	59	70
エレンタール* (成分栄養剤)	57	71	56	65
一般用医薬品等	179	227	179	225
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	115	150	121	150
アメリカス	1,721	2,324	2,093	2,665
米国	1,683	2,269	2,040	2,600
中国	864	1,119	885	1,090
EMEA	562	760	597	745
イーストアジア・グローバルサウス	414	542	444	565
その他	232	503	321	295
連結売上収益	5,513	7,418	6,012	7,540
主要品目の売上収益				
レンビマ/Kisplyx	2,232	2,976	2,481	3,045
日本	122	155	106	150
アメリカス	1,521	2,041	1,755	2,120
中国	211	269	192	240
EMEA	277	382	314	395
イーストアジア・グローバルサウス	100	130	114	140
デエビゴ	312	418	405	520
日本	266	355	338	440
アメリカス	38	51	50	65
レケンビ	14	43	296	425
日本	0	4	83	120
アメリカス	14	38	181	265
中国、他	0	1	31	40
フィコンパ	197	259	222	270
日本	54	69	59	80
中国	28	35	32	35
EMEA	94	128	114	135
イーストアジア・グローバルサウス	15	19	15	20

* EAファーマの取り扱い製品です。

6. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2023年度		2024年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	前同比	増減額
四半期(当期)利益	308	438	475	154.1	167
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	18	17	16	89.7	△2
確定給付制度に係る再測定	—	54	—	—	—
小計	18	71	16	89.7	△2
損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目					
在外営業活動体の換算差額	341	719	261	76.5	△80
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△2	△0	3	—	5
小計	339	719	264	77.8	△75
その他の包括利益合計	357	790	280	78.4	△77
四半期(当期)包括利益	665	1,228	754	113.5	90
四半期(当期)包括利益の帰属					
親会社所有者	648	1,215	735	113.4	87
非支配持分	17	13	20	114.6	3

7. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	437	611	174
減価償却費及び償却費	294	301	7
減損損失	24	39	15
運転資本の増減額(△は増加)	△280	△733	△453
利息及び配当金の受取額	70	74	4
利息の支払額	△11	△19	△8
法人所得税の支払額	△106	△178	△73
法人所得税の還付額	30	19	△12
その他	△79	△106	△26
営業活動によるキャッシュ・フロー	379	8	△371
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△110	△86	23
無形資産の取得による支出	△86	△32	53
有形固定資産・無形資産の売却による収入	4	142	138
共同支配企業に対する投資による支出	—	△3	△3
金融資産の取得による支出	△53	△35	18
金融資産の売却・償還による収入	21	27	7
小計<資本的支出等(キャッシュベース)>	△224	13	237
3カ月超預金の預入による支出	△0	—	0
3カ月超預金の払戻による収入	0	0	0
その他	1	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△223	12	236
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(△は減少)	3	592	589
長期借入れによる収入	498	—	△498
長期借入金の返済による支出	△100	△0	100
リース負債の返済による支出	△71	△75	△4
自己株式の取得による支出	△0	△301	△301
配当金の支払額	△459	△455	4
その他	△5	△3	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134	△242	△109
現金及び現金同等物に係る換算差額	152	88	△65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	174	△134	△309
現金及び現金同等物の期首残高	2,674	3,047	373
現金及び現金同等物の期末残高	2,848	2,913	65

フリー・キャッシュ・フロー	155	21	△134
---------------	-----	----	------

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

<コメント>

<p>■営業活動によるキャッシュ・フロー 運転資本は、「レケンビ」等についての棚卸資産が増加したことに加え、売掛金の増加やBMS社との戦略的提携契約の締結時に受領した預り金の取り崩しなどにより増加</p> <p>■投資活動によるキャッシュ・フロー 販売権を譲渡したことによる一時金を受領</p> <p>■財務活動によるキャッシュ・フロー 短期借入金が増加した一方で、自己株式の取得および配当金の支払いを実施</p>
--

8. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2023年度		2024年度		
	3Q累計	通期	3Q累計	増減額	通期予想
資本的支出額(キャッシュベース)	195	248	119	△76	525
有形固定資産	110	143	86	△23	160
無形資産	86	105	32	△53	365
減価償却費及び償却費	294	394	301	7	400
有形固定資産	167	224	170	3	220
無形資産	127	170	131	4	180

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2023年度		2024年度			
	3月末	構成比	12月末	構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,649	11.8	1,599	11.2	97.0	△50
のれん	2,364	17.0	2,468	17.2	104.4	105
無形資産	855	6.1	792	5.5	92.6	△63
その他の金融資産	577	4.1	601	4.2	104.3	25
その他	256	1.8	263	1.8	102.9	7
繰延税金資産	1,008	7.2	994	6.9	98.6	△14
非流動資産合計	6,708	48.1	6,718	46.9	100.1	9
流動資産						
棚卸資産	1,747	12.5	2,061	14.4	118.0	315
営業債権及びその他の債権	2,172	15.6	2,356	16.4	108.5	184
その他の金融資産	4	0.0	8	0.1	183.5	4
その他	260	1.9	273	1.9	104.9	13
現金及び現金同等物	3,047	21.9	2,913	20.3	95.6	△134
流動資産合計	7,230	51.9	7,611	53.1	105.3	381
資産合計	13,938	100.0	14,329	100.0	102.8	391

<コメント>

■資産の部

(のれん)	為替の影響による増加
(棚卸資産)	「レケンビ」等の生産を進めたことによる在庫の増加
(営業債権及びその他の債権)	主に米国における売上収益の増加による売掛金の増加
(現金及び現金同等物)	自己株式の取得および配当金の支払い等による減少

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2023年度		2024年度			
	3月末	構成比	12月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	3.2	450	3.1	100.0	—
資本剰余金	789	5.7	757	5.3	95.9	△32
自己株式	△336	△2.4	△423	△3.0	125.8	△87
利益剰余金	5,265	37.8	5,097	35.6	96.8	△168
その他の資本の構成要素	2,589	18.6	2,853	19.9	110.2	264
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,756	62.8	8,734	61.0	99.7	△23
非支配持分	234	1.7	249	1.7	106.6	15
資本合計	8,990	64.5	8,983	62.7	99.9	△7
負債						
非流動負債						
借入金	1,348	9.7	998	7.0	74.1	△349
その他の金融負債	385	2.8	370	2.6	96.0	△15
引当金	14	0.1	15	0.1	103.1	0
その他	149	1.1	140	1.0	94.2	△9
繰延税金負債	7	0.1	6	0.0	90.6	△1
非流動負債合計	1,904	13.7	1,530	10.7	80.4	△374
流動負債						
借入金	246	1.8	1,193	8.3	484.2	946
営業債務及びその他の債務	722	5.2	645	4.5	89.3	△77
その他の金融負債	343	2.5	181	1.3	53.0	△161
未払法人所得税	87	0.6	40	0.3	45.4	△48
引当金	312	2.2	336	2.3	107.6	24
その他	1,334	9.6	1,421	9.9	106.5	87
流動負債合計	3,045	21.8	3,816	26.6	125.3	771
負債合計	4,948	35.5	5,346	37.3	108.0	398
資本及び負債合計	13,938	100.0	14,329	100.0	102.8	391

<コメント>

■資本の部

(利益剰余金)
(その他の資本の構成要素)

配当金の支払いおよび取得した自己株式の消却に伴い減少
為替の影響による在外営業活動体の換算差額の増加

■負債の部

(借入金—流動・非流動)
(その他の金融負債)

短期借入金の増加(597億円)および非流動負債から流動負債への振替(350億円)
主にBMS社との戦略的提携契約の締結時に受領した預り金の取り崩し

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2023年度				2024年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上収益	1,969	1,766	1,777	1,905	1,890	1,960	2,161
売上原価	439	364	389	361	398	425	459
売上総利益	1,530	1,402	1,388	1,544	1,493	1,535	1,702
販売費及び一般管理費	861	928	922	1,034	995	974	1,045
販売費	450	500	466	523	513	493	550
人件費	260	287	303	326	327	321	324
管理費他	151	141	153	185	156	161	172
研究開発費	411	416	417	445	417	400	436
その他の収益	6	1	6	106	55	0	59
その他の費用	4	5	△6	12	1	16	4
営業利益	260	54	61	159	134	144	276
金融収益	28	26	23	31	33	21	28
金融費用	5	6	4	8	7	9	8
税引前四半期利益	283	74	80	181	160	156	296
法人所得税	74	41	14	51	45	40	52
四半期利益	209	33	66	130	115	116	244
四半期利益の帰属							
親会社所有者	203	28	60	133	106	111	238
非支配持分	6	5	7	△3	9	4	6
四半期包括利益	684	172	△192	563	526	△547	775
EPS(円)	70.92	9.73	20.81	46.40	36.95	39.17	84.38

・EPS: 基本的1株当たり四半期利益

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2023年度				2024年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	126	166	87	181	△86	95	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116	△43	△64	△30	36	△28	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155	△55	76	△93	△119	△212	89
現金及び現金同等物の期末残高	2,693	2,815	2,848	3,047	3,039	2,686	2,913
フリー・キャッシュ・フロー	10	123	23	149	△50	67	4

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2023年度				2024年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
資本的支出額(キャッシュベース)	86	34	76	53	46	29	44
有形固定資産	70	24	15	34	36	22	28
無形資産	16	9	61	19	10	7	15
減価償却費及び償却費	98	98	99	100	101	100	100
有形固定資産	55	56	56	57	57	56	57
無形資産	42	42	43	43	44	43	43

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2023年度				2024年度		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
資産	13,051	13,340	13,112	13,938	14,202	13,214	14,329
資本	8,677	8,848	8,427	8,990	9,197	8,443	8,983
親会社の所有者に帰属する持分	8,449	8,617	8,189	8,756	8,958	8,201	8,734
負債	4,374	4,491	4,685	4,948	5,006	4,771	5,346
借入金	1,362	1,332	1,663	1,594	1,823	1,829	2,191
親会社所有者帰属持分比率(%)	64.7	64.6	62.5	62.8	63.1	62.1	61.0
負債比率(Net DER/倍)	△0.19	△0.20	△0.17	△0.19	△0.16	△0.13	△0.11

・負債比率(Net DER)＝(有利子負債(借入金)－現金及び現金同等物－3カ月超預金等－親会社保有投資有価証券)÷親会社の所有者に帰属する持分

5)主力品売上収益の四半期推移

(1)ニューロロジー領域製品

(億円)

	2023年度				2024年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
ニューロロジー領域製品計	367	342	378	370	443	486	549
デエビゴ(不眠症治療剤)	94	100	118	106	121	132	152
日本	81	86	99	89	102	110	126
アメリカス	10	12	16	14	15	16	19
レケンビ(アルツハイマー病治療剤)	1	3	11	28	63	100	133
日本	—	—	0	3	15	27	41
アメリカス	1	3	10	24	46	59	77
中国	—	—	—	0	2	13	13
フィコンバ(抗てんかん剤)	81	55	61	62	74	73	75
日本	18	17	18	16	19	19	21
中国	26	1	2	7	9	13	10
EMEA	31	30	33	34	40	35	39
イーストアジア・グローバルサウス	5	5	5	4	5	5	5
メチコバル(末梢性神経障害治療剤)	78	72	70	64	66	70	73
日本	25	24	25	20	22	21	23
中国	38	33	27	28	30	32	34
イーストアジア・グローバルサウス	10	11	12	11	9	12	11
アリセプト(アルツハイマー型認知症治療剤)	62	64	67	62	69	61	62
中国	16	17	19	18	21	18	19
イーストアジア・グローバルサウス	32	34	35	34	38	34	36
その他	53	49	52	47	52	50	55

(2)オンコロジー領域製品

(億円)

	2023年度				2024年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
オンコロジー領域製品計	824	918	837	852	941	913	932
レンビマ/Kispalyx(抗がん剤)	708	806	718	745	835	813	833
日本	41	41	41	33	34	36	37
アメリカス	481	507	533	519	598	561	596
中国	69	115	27	58	70	60	62
EMEA	90	101	85	105	101	112	102
イーストアジア・グローバルサウス	26	43	32	29	33	44	37
ハラヴェン(抗がん剤)	95	93	99	88	84	79	77
日本	21	20	20	18	19	19	20
アメリカス	29	31	33	31	27	22	16
中国	6	5	4	4	6	6	5
EMEA	30	28	33	26	24	23	26
イーストアジア・グローバルサウス	8	10	9	8	9	9	10
その他	22	19	20	20	22	21	22

11. 主要開発品

NCT: ClinicalTrials.gov の識別番号、 jRCT: Japan Registry of Clinical Trials の識別番号
日: 日本、米: 米国、欧: 欧州、中: 中国、P: Phase(臨床試験段階)
○: 2024 年 4 月以降の進捗、◎: 2024 年 10 月以降の進捗

(1) 神経

開発品コード: BAN2401 一般名: レカネマブ 製品名: レケンビ		導入品 (BioArctic AB)	
薬効/作用機序: アルツハイマー病治療剤/抗 A β プロトフィブリル抗体		注射剤(点滴静注・皮下注射)	
[概要] アミロイド β (A β)プロトフィブリルに対する IgG1 抗体です。神経毒性を呈することが報告されている A β プロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー病(AD)の進行を抑制し、認知機能と日常生活機能の低下を遅らせます。早期 AD に係る適応で、日本、米国、中国、韓国、香港、イスラエル、アラブ首長国連邦、英国、メキシコ、マカオにおいて承認を取得し、欧州(EU)などにおいて承認申請中です。米国においては、点滴静注による維持投与についても承認を取得しています。皮下注射製剤による維持投与の開発が進行中です。Biogen Inc.と共同開発を行っています。			
早期 AD	アジア(韓国) 英国 欧州(EU)	○ ○	承認(2024 年 4 月) 承認(2024 年 8 月) 申請(2023 年 1 月受理)
301 試験(Clarity AD)	NCT03887455		
早期 AD 静注維持投与(用法用量追加)	米国	◎	承認(2025 年 1 月)
201/301 試験	NCT01767311/NCT03887455		
早期 AD 皮下注射製剤維持投与(剤形追加)	米国	◎	申請(2025 年 1 月受理)
301 試験	NCT03887455		
プレクリニカル AD(効能効果追加)	日米欧		PⅢ
303 試験(AHEAD 3-45)	NCT04468659		
開発品コード: E2007 一般名: ペランパネル 製品名: フィコンパ		自社品	
薬効/作用機序: 抗てんかん剤/AMPA 受容体拮抗剤		経口剤・注射剤	
[概要] グルタミン酸による AMPA 型グルタミン酸受容体の活性化を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して日本、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。また、日本、中国では、単剤療法の承認も取得しています。全般てんかんの強直間代発作の併用療法の適応についても、日本、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。欧州および中国では、経口懸濁液の承認を取得しています。日本では、細粒剤および注射剤の承認を取得しています。2023 年 1 月、米国における権利を譲渡しました。			
てんかんの強直間代発作の併用療法(効能効果追加)	中国	○	承認(2024 年 4 月)
332 試験	NCT01393743		
開発品コード: E2006 一般名: レンボレキサント 製品名: デエビゴ		自社品	
薬効/作用機序: 不眠症治療剤/オレキシン受容体拮抗剤		経口剤	
[概要] 睡眠と覚醒の調整に関与するオレキシンの受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、速やかな入眠と睡眠維持をもたらすことが期待されます。不眠症に係る適応で、日本、米国、アジアなどにおいて承認を取得しています。			
不眠症	中国		申請(2024 年 1 月受理)
311 試験	NCT04549168		
開発品コード: E0302 一般名: メコバラミン 製品名: ロゼバラミン		自社品	
薬効/作用機序: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療剤		注射剤	
[概要] 末梢性神経障害治療剤として広く使われているメコバラミンの承認用量の 100 倍(1 回投与量として)の高用量製剤です。			
ALS	日本	○	承認(2024 年 9 月)
JETALS(医師主導試験)	NCT03548311		

開発品コード: E2814		共同創出品 (ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)	
薬効/作用機序: 抗 MTBR タウ抗体		注射剤	
[概要] 当社とユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとの共同研究を通じて見出された抗微小管結合領域 (Microtubule binding region: MTBR) タウ抗体です。タウ伝播種の脳内拡散を抑制することを期待しています。優性遺伝アルツハイマーネットワーク試験ユニット (DIAN-TU) が実施する臨床試験 (フェーズ II / III 試験 Tau NexGen) において、抗タウ薬として最初の評価対象薬に選定されました。			
優性遺伝 AD (レカネマブとの併用療法)		日米欧	P II / III
Tau NexGen 試験	NCT05269394		
優性遺伝 AD		米欧	P I b / II
103 試験	NCT04971733		
孤発性早期 AD (レカネマブとの併用療法)		日米	○ P II
202 試験	NCT06602258		

開発品コード: E2511		自社品	
薬効/作用機序: TrkA 統合シナプス再生剤		経口剤	
AD		米国	P I

開発品コード: E2025		自社品	
薬効/作用機序: 抗 EphA4 抗体		注射剤	
AD		米国	P I

開発品コード: E2086		自社品	
薬効/作用機序: オレキシン受容体作動薬		経口剤	
ナルコレプシー		米国	P I b

- ◎ Lorcasein (一般名) について、米国でフェーズ III 段階にあったドラベ症候群を対象とした 304 試験を中止したため、本表から削除しました。
- ◎ EA4017 について、EA ファーマが、日本でフェーズ I 段階にあったがん化学療法に伴う末梢神経障害を対象とした開発の中止を判断したため、本表から削除しました。

(2)がん

開発品コード: E7080 一般名: レンパチニブ 製品名: レンビマ		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/キナーゼ阻害剤		経口剤	
<p>[概要] 血管内皮増殖因子受容体 (VEGFR) である VEGFR1、VEGFR2、VEGFR3 や線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) の FGFR1、FGFR2、FGFR3、FGFR4 に加え、血小板由来増殖因子受容体 (PDGFR) の PDGFRα、KIT、RET などの腫瘍血管新生あるいは腫瘍悪性化に関与する受容体型チロシンキナーゼに対する選択的阻害活性を有する、経口投与可能な自社創製のマルチキナーゼ阻害剤です。単剤療法として、甲状腺がんに係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しています。肝細胞がん (ファーストライン) に係る適応で、日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて承認を取得しており、胸腺がんに係る適応で、日本において承認を取得しています。エベロリムスとの併用療法では、腎細胞がん (セカンドライン) に係る適応で、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しています。ペムプロリズマブとの併用療法では、腎細胞がん (ファーストライン) に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認を取得しており、子宮内膜がん (全身療法後) に係る適応で、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて承認 (一部の条件付き承認の国を含む) を取得しています。なお、欧州における腎細胞がんに係る適応においては、Kisplyx の製品名で発売しています。Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA (米メルク社) と共同開発を行っています。</p>			
抗 PD-1 抗体ペムプロリズマブとの併用療法 米メルク社と共同開発 (効能効果追加)			
肝細胞がん (肝動脈化学塞栓療法との併用療法)		日米欧中	P III
LEAP-012 試験	NCT04246177		
食道がん (化学療法との併用療法)・ファーストライン		日米欧中	P III
LEAP-014 試験	NCT04949256		
胃がん (化学療法との併用療法)・ファーストライン		日米欧中	P III
LEAP-015 試験	NCT04662710		
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発 (効能効果追加)			
肝細胞がん		日本	P I b

○ 頭頸部がん (セカンドライン) を対象とした米国、欧州でフェーズ II 段階にあった LEAP-009 試験について、独立データモニタリング委員会の推奨に従い、中止を決定したため、本表から削除しました。

開発品コード: E7389 一般名: エリブリン 製品名: ハラヴェン		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/微小管ダイナミクス阻害剤		注射剤	
<p>[概要] クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。日本、米国、欧州、中国、アジアなどにおいて乳がんに係る適応で承認を取得しています。また、日本、米国、欧州、アジアなどにおいて脂肪肉腫 (日本では悪性軟部腫瘍) に係る適応で承認を取得しています。</p>			
単剤療法 (剤形追加)			
リポソーム製剤		日欧	P I
抗 PD-1 抗体ニボルマブとの併用療法 小野薬品と共同開発 (剤形追加)			
リポソーム製剤		日本	P I b/II
120 試験	NCT04078295		

開発品コード: E7090 一般名: タスルグラチニブ 製品名: タスフィゴ		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/FGFR1、FGFR2、FGFR3 阻害剤		経口剤	
<p>[概要] 経口投与可能な線維芽細胞増殖因子 (FGF) 受容体 (FGFR1、FGFR2、FGFR3) 選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。</p>			
FGFR2 融合遺伝子を有する胆道がん		日本	○ 承認 (2024 年 9 月)
201 試験	NCT04238715		
乳がん		日本	P I b

開発品コード: MORAb-202 一般名: farletuzumab ecteribulin (FZEC)		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/葉酸受容体 α をターゲットとする抗体薬物複合体 (ADC)		注射剤	
[概要] 抗葉酸受容体 α 抗体と既に承認されている抗がん剤エリブリンを、リンカーを介して結合した ADC です。腫瘍部位にエリブリンを集中させ、葉酸受容体 α 陽性の子宮内膜がん、卵巣がん、肺がん、乳がんなどへの治療効果を期待しています。2024 年 6 月、Bristol Myers Squibb とのグローバルな共同開発・共同販促契約を終結し、当社単独でのグローバル開発・商業化に移行しました。			
非小細胞肺がん		米欧	P II
203 試験	NCT05577715		
卵巣がん、腹膜がん、卵管がん		日米欧	P II
205 試験	NCT05613088		
固形がん		米欧	P I / II
201 試験	NCT04300556		
開発品コード: E7386		共同創出品 (PRISM BioLab)	
薬効/作用機序: 抗がん剤/CBP/ β -catenin 相互作用阻害剤		経口剤	
[概要] CREB-binding protein (CBP) と β -catenin のタンパク質-タンパク質相互作用を阻害し、Wnt シグナルに依存した遺伝子発現を調節します。Wnt シグナルに依存した腫瘍増殖の抑制を期待しています。			
固形がん (ペムプロリズマブとの併用療法)		日米欧	P I b / II
201 試験	NCT05091346		
固形がん (レンバチニブとの併用療法)		日米欧	P I b / II
102 試験	NCT04008797		
固形がん		日米欧	P I
開発品コード: H3B-6545		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤/ER α 阻害剤		経口剤	
[概要] 経口投与可能な選択的エストロゲン受容体 (ER) α 共有結合型アンタゴニストであり、野生型および変異型 ER α をともに阻害します。ER 陽性/HER2 陰性の乳がんに対する抗腫瘍効果を期待しています。			
乳がん (CDK4/6 阻害剤パルボシクリブとの併用療法)		米欧	P I b
開発品コード: E7130		共同創出品 (ハーバード大学)	
薬効/作用機序: 抗がん剤		注射剤	
固形がん		日本	P I
開発品コード: E7766		自社品	
薬効/作用機序: 抗がん剤		注射剤	
固形がん		米欧	P I b

◎ BB-1701 について、今後のグローバル開発、販促を Bliss Biopharmaceutical Co., Ltd. が単独で実施することに合意し、戦略的提携に向けたオプション権を行使しないことを決定したため、本表から削除しました。

(3) グローバルヘルス

開発品コード: E1224 一般名: ホスラブコナゾール	自社品
薬効/作用機序: 抗真菌剤/エルゴステロール合成阻害剤	経口剤
<p>[概要] 独立非営利財団 Drugs for Neglected Diseases initiative (DNDi) と、世界で最も顧みられない病気の一つであるマイセトーマ (菌腫) の内、特にアンメットメディカルニーズの高い真菌性菌腫 (eumycetoma) に対する新規治療薬として共同開発を行っています。当社は非臨床試験および治験薬の提供などを担当しています。本剤のフェーズ II b/III 試験は、スーダンにて DNDi およびスーダンのハルツーム大学菌腫研究センターにより行われました。現在、スーダンにおける承認申請に向けた準備を進めています。公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund) の助成を受けています。</p>	

開発品コード: SJ733	共同開発品 (ケンタッキー大学)
薬効/作用機序: 抗マラリア剤/ATP4 阻害剤	経口剤
<p>[概要] マラリア蔓延地域での治療に適した、即効性と安全性に優れ、持続的な治療と再発防止を可能とし、現在問題となっている既存の抗マラリア薬への耐性を克服する薬剤となることを期待しています。ケンタッキー大学と共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズ II 試験は、ペルーにてケンタッキー大学により行われています。GHIT Fund の助成を受けています。</p>	

開発品コード: AWZ1066S	共同開発品 (リバプール熱帯医学校)
薬効/作用機序: 抗フィラリア剤/抗ボルバキア作用	経口剤
<p>[概要] リバプール熱帯医学校およびリバプール大学と、主なフィラリア症であるリンパ系フィラリア症および河川盲目症に有効な新規フィラリア駆虫薬創出に向けた共同研究を行っており、当社は原薬の提供と製剤製造を担当しています。本剤のフェーズ I 試験は、英国にてリバプール熱帯医学校により行われています。GHIT Fund および英国 Medical Research Council の助成を受けています。</p>	

(4) 消化器

開発品コード: AJG555 製品名: モビコール配合内用剤	導入品 (Norgine)	
薬効/作用機序: 慢性便秘症治療剤/ポリエチレングリコール製剤	経口剤	
<p>[概要] ポリエチレングリコール製剤により腸管内の浸透圧制御を行うことで排便を促す経口便秘薬です。日本において、2 歳以上の小児および成人の慢性便秘症の治療を適応として承認を取得しています。EA ファーマが開発しています。</p>		
慢性便秘症 2 歳未満適応 (用法用量追加)	日本	P III
CT3 試験	jRCT2031230142	

開発品コード: AJM347	自社品	
薬効/作用機序: —	経口剤	
炎症性腸疾患 (EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc. と共同開発)	欧州	P I

開発品コード: EA1080	自社品	
薬効/作用機序: —	経口剤	
炎症性腸疾患 (EA ファーマが Ensho Therapeutics, Inc. と共同開発)	欧州	P I

開発品コード: EA3571	自社品	
薬効/作用機序: —	経口剤	
代謝機能障害関連脂肪肝炎 (EA ファーマが開発)	日本	P I

(5) その他

開発品コード: FYU-981 一般名: ドチヌラド 製品名: URECE		導入品(富士薬品)	
薬効/作用機序: 痛風・高尿酸血症治療剤/選択的 URAT1 阻害剤		経口剤	
[概要] 尿酸トランスポーターの 1 つである URAT1 を選択的に阻害し、腎臓での尿酸の再吸収を妨げ、尿中への尿酸排泄を促進します。その他のトランスポーターなどへの影響が少ないため、より少ない用量で血清尿酸値を低下させ、副作用や薬物相互作用のリスクが低いことが期待されています。日本においては、2020 年 1 月に富士薬品が製造販売承認を取得しています。2020 年 2 月に中国、2021 年 8 月に ASEAN5 カ国における開発・販売に関するライセンス契約を富士薬品と締結しました。			
痛風・高尿酸血症	アジア(タイ)	○	承認(2024 年 9 月)
痛風	中国	◎	承認(2024 年 12 月)
301 試験	NCT05007392		
開発品コード: E6742		自社品	
薬効/作用機序: 全身性エリテマトーデス(SLE)治療剤/TLR7/8 阻害剤		経口剤	
[概要] 自然免疫系の受容体である Toll 様受容体(TLR)は、活性化により炎症反応や抗ウイルス応答を引き起こします。本剤は SLE の発症機序に関連しているとされる TLR7/8 の経口選択的阻害剤です。国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の医療研究開発革新基盤創成事業(GiCLE)に採択されています。			
SLE	日本		P I / II
101 試験	NCT05278663		
開発品コード: E8001		自社品	
薬効/作用機序: —		注射剤	
臓器移植に伴う拒絶反応	日本		P I